

2017年3月期
(2016年4月1日～2017年3月31日)

決算参考資料

2017年5月11日



東証・名証1部上場 コード:9900

設立:1970年3月

資本金:71億7810万円



目次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. 店舗展開の状況	—————	P4
3. 2017年3月期の業績概況	—————	P6
4. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P6
5. 2017年3月期の業績・取り組みについて	—————	P7
6. 2018年3月期の通期業績予想	—————	P8

1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は10社であります。

[連結子会社]

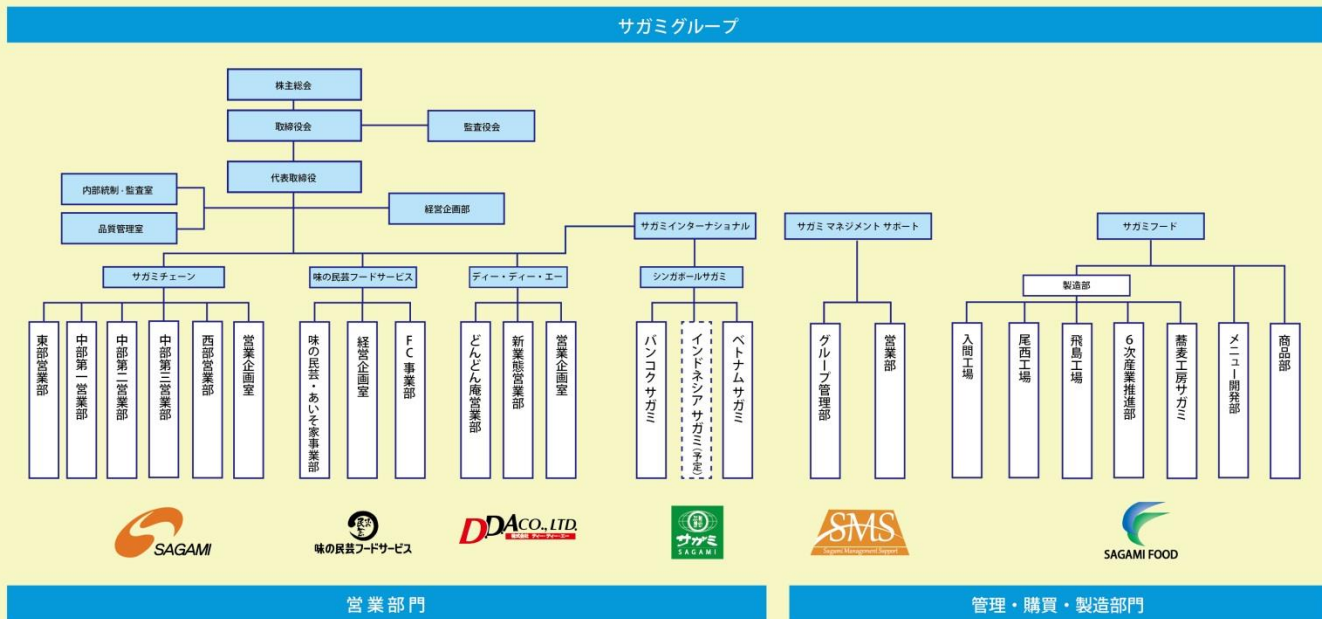
名称	住所	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマスターズ	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000,000円	100.00%	保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務 不動産賃貸業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100.00%	食材の仕入・製造業務 飲食店の経営 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100.00%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	3,500,000米ドル	100.00%	海外事業(ASEAN)の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	69.09%	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	49.00%	投資事業
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	2,500,000,000ドン	100.00%	飲食店の経営

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社	----2014年04月01日
VIETNAM SAGAMI JSC	----2016年01月11日

*株式会社サガミサービスは2017年4月1日より、株式会社サガミマネジメントサポートに社名を変更いたしました。

○ サガミグループ組織図



○ グループ会社について

- ◆ 株式会社サガミチェーンは、主に和食麺処サガミ業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態、水山業態を経営しております。
- ◆ 株式会社ディー・ディー・エーは、主にどんどん庵業態、製麺大学業態、かつたに業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務、保険業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行います。

*株式会社サガミサービスは2017年4月1日より、株式会社サガミマネジメントサポートに社名を変更いたしました。

2. 店舗展開の状況

	2016年 3月期	2017年 3月期			2018年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	129	3	1	131	3	1	133
和食 濱町	5	—	3	2	—	—	2
味の民芸 (FC店舗含む)	56	—	1	55	1	—	56
団欒食堂 あいそ家	9	—	—	9	—	—	9
あいそ家キッチン	1	—	1	0	—	—	0
どんどん庵	36	1	2	35	—	—	35
かつたに	0	1	—	1	1	—	2
SAGAMI (金城ふ頭店)	0	1	—	1	—	—	1
サガミ 健やか食堂	0	1	—	1	—	—	1
日本料理 さがみ庭	1	1	—	2	—	1	1
さがみ庭 (SC店)	2	—	1	1	—	—	1
サガミ村	1	—	—	1	—	—	1
さがみ (青山店)	1	—	—	1	—	—	1
製麺大学	4	—	—	4	—	—	4
水山 (FC店舗含む)	5	—	1	4	—	—	4
びんむぎ	1	—	—	1	1	—	2
JIN JIN	2	—	—	2	—	—	2
Dela PASTA Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
陣屋サガミ	1	—	—	1	—	1	0
盛賀美	1	—	1	0	—	—	0
鹿山食堂・まるど食堂	2	—	2	0	—	—	0
ASIAN LEAF	1	—	1	0	—	—	0
フランチャイジー店舗	2	—	—	2	—	—	2
海外 中国	2	—	—	2	—	—	2
海外 タイ	3	—	1	2	—	1	1
海外 インドネシア	2	—	1	1	—	—	1
海外 ベトナム	0	2	—	2	1	—	3
海外 イタリア	0	1	—	1	—	—	1
合計	268	11	16	263	7	4	266

* 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

* 海外店舗は、業績数値反映期間を2016年1～12月期としておりますが、

店舗数等の説明に関しましては、国内の累計期間に合わせ、2016年4月期～2017年3月期の状況にて記載しております。

○ 業態毎の店舗展開について

<国内>

◆ 和食麵処サガミ業態

2016年5月に「濱町 厚木文化会館前店」を「和食麵処サガミ 厚木文化会館前店」に、
2016年6月に「濱町 座間店」を「和食麵処サガミ 座間店」に、
2016年9月に「濱町 金沢文庫店」を「和食麵処サガミ 金沢文庫店」に業態転換いたしました。
2017年3月に契約満了により、「和食麵処サガミ 奈良駅前店」を閉店いたしました。
これにより、和食麵処サガミ業態の店舗数は、131店舗となりました。

◆ 味の民芸業態

2016年5月に契約満了により、「味の民芸 新宿フロントタワー店」を閉店いたしました。
これにより、味の民芸業態の店舗数は、FC店舗を含め55店舗となりました。

◆ あいそ家業態

2016年11月に契約満了により「あいそ家 Kitchen 大山田店」を閉店いたしました。
これにより、あいそ家業態の店舗数は9店舗となりました。

◆ どんどん庵業態

2016年7月に「どんどん庵 尾西店」を「かつたに 一宮尾西店」に、
2017年3月に「まるど食堂 上田楽店」を「どんどん庵 上田楽店」に業態転換いたしました。
また、2016年12月に「どんどん庵 桜通大津店」を閉店いたしました。
これによりどんどん庵業態の店舗数は、35店舗となりました。

◆ さがみ庭業態

2016年7月に名古屋駅前に日本料理業態である「さがみ庭 キャッスルプラザ店」を開店いたしました。
これによりさがみ庭業態の店舗数は、2店舗となりました。

◆ 新業態

2016年4月に健康都市を標榜する愛知県大府市の市役所に「サガミ 健やか食堂」を開店いたしました。
女性管理栄養士考案による、栄養バランスを考えたメニューなどを提供しております。
2017年3月にLEGOLAND® Japanに隣接する大規模商業施設「メイカーズピア」内に
「SAGAMI 金城ふ頭店」を開店いたしました。
お子様そば工房を併設し、食の楽しみに加え、記憶に残る体験の場の提供をコンセプトとしております。

◆ その他業態

2016年4月にショッピングモール業態である「さがみ庭 イオンモール名古屋茶屋店」を、
2016年6月に「鹿山食堂」「ASIAN LEAF 大手町店」を、2017年1月に「盛賀美 桜通本町店」を、
2017年2月に「水山 丸の内パレスビル店」を閉店いたしました。

<海外>

◆ ベトナム

2016年7月に、「ホーチミン高島屋」の地下2階に「水山」「JINJIN」を各1店舗開店いたしました。

◆ イタリア

2016年12月に、ミラノ市内に長期実験店舗として「SAGAMI」を開店いたしました。

◆ インドネシア

2016年7月に、インドネシアの「Plaza Senayan」に出店していた「SAGAMI」を閉店いたしました。

◆ タイ

2016年11月に、タイの「Central Plaza Rama3」に出店していた「SAGAMI」を閉店いたしました。

以上により、2016年度末のグループ店舗数は、国内255店舗、海外8店舗の計263店舗であります。

*海外店舗は、業績数値反映期間を2016年1～12月期としておりますが、
店舗数等の説明に関しましては、国内の累計期間に合わせ、2016年4月期～2017年3月期の状況にて記載しております。

3. 2017年3月期の業績概況

○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2016年 3月期	当初計画 2016年5月11日発表	2017年 3月期	当初計画 差異
売上高	25,887	26,000	25,937	△63
営業利益	876	900	838	△62
経常利益	915	950	885	△65
親会社株主に帰属する 当期純利益	513	550	586	36
一株あたり 当期純利益	19.39	20.77	22.19	1.42

○ 単体ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2016年 3月期	当初計画 2016年5月11日発表	2017年 3月期	当初計画 差異
売上高	16,734	17,200	17,698	498
経常利益	852	870	987	117
親会社株主に帰属する 当期純利益	496	510	480	△30
一株あたり 当期純利益	18.75	19.26	18.19	△1.07

*当初計画とは、2016年 5月11日に発表した通期計画です。

4. 財政・キャッシュフローの概況

○ 連結財政状態

単位 (百万円/%/円)	2016年 3月期	2017年 3月期
総資産	18,852	18,512
純資産	13,390	13,813
自己資本比率	71.0	74.6
一株あたり 純資産	505.54	524.17

○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2016年 3月期	2017年 3月期
営業活動によるキャッシュフロー	1,216	1,400
投資活動によるキャッシュフロー	△858	△387
財務活動によるキャッシュフロー	321	△1,035
現金及び現金同等物 期末残高	3,968	3,943

- 設備投資について
連結設備投資は 692百万円(2016年3月期実績 650百万円)となりました。
- 減価償却費について
減価償却費は 543百万円(2016年3月期実績 501百万円)となりました。

5. 2017年3月期の業績・取り組みについて

○ 2017年3月期の業績について

◆ 主力業態「和食麵処サガミ」の業績について

売上前年比が100.9%と堅調に推移いたしました。

節約志向の高まりもあり、既存店の客数前年比は98.1%と前年を下回ったものの、うなぎや釜飯などの季節メニュー販売が良好に推移し、客単価が前年比102.8%と伸びました。この結果、前年を上回る売上高となりました。

◆ 「味の民芸」の業績について

既存店における売上高が38ヶ月連続(2017年4月時点:現在も更新中)で前年を上回るなど、売上・客数ともに非常に好調に推移しております。

グループ化以前は長期間低迷が続いた業態ですが、当社の改善手法を導入し、2017年3月期決算では、繰延税金資産を計上するまで回復いたしました。

◆ 利益数値について

既存主力業態の売上高が好調に推移したものの、労働需給の逼迫による人件費の上昇などの影響もあり、連結営業利益および経常利益が前期を下回ることとなりました。

○ 2017年3月期の主な取り組みについて

◆ 健康メニューへの取り組み

健康志向の高まりを受け、和食麵処サガミ業態では、『韃靼(だつたん)そば』

『減塩なめこそば』『減塩とろろそば』『減塩みそ煮込』を新たに導入いたしました。

韃靼そばは強い苦みが特徴ですが、生活習慣病の予防効果があると言われておりポリフェノールの一種「ルチン」が、普通そばの約100倍含まれております。

当社では、北海道の農場と契約し、苦みを抑えた世界初の国産新品種「満天きらり」を使用しております。

◆ サガミ公式アプリを導入

2016年12月より、和食麵処サガミで様々な特典が利用できる公式アプリをリリースしました。

お得なクーポンを定期的に配信するほか、店舗検索機能や予約機能も搭載しており、お客様の来店頻度向上に役立てております。

◆ 「ISO22000」認証の取得

関東圏の拠点工場である「入間工場」、中部圏の拠点工場である「尾西工場」にて、

食品安全マネジメントシステムの国際規格である『ISO22000:2005』認証を取得いたしました。

食の安全への取り組みを今後も継続してまいります。

◆ イタリア ミラノに出店

2015年に開催されたミラノ万博、2016年4月に実施したテストマーケティングが、

双方、大盛況であったことから、ミラノ市内に1年間の長期検証店舗を出店いたしました。

テストマーケティングで好評であった「そば」「なごやめし」に加え、国内業態の定番メニューである「とんかつ」「カレーうどん」などを提供しており、好調に推移しております。

ASEAN諸国に加え、欧州での展開についても更なる検討を進めてまいります。



『ISO22000』認証ロゴ



『満天きらりの韃靼そばと石挽そば』



『SAGAMI ミラノ店』

6. 2018年3月期の業績予想

○ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期
売上高	25,937	26,000
営業利益	838	880
経常利益	885	920
親会社株主に帰属する 当期純利益	586	590

○ 単体ベースの業績予想

単位 (百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期
売上高	17,698	17,800
経常利益	987	800
親会社株主に帰属する 当期純利益	480	480

○ 2018年3月期について

◆ 中期経営計画

各事業の進捗状況や今後の環境を見据え、中期経営計画『ローリングプラン2019』を策定いたしました。「事業基盤の強化」「収益性の向上」「成長戦略の推進」の基本戦略に基づき、ビジョン“No.1 Noodle Restaurant Company”の実現に向け、邁進してまいります。

◆ 主力業態の出店

本年度は、「和食麺処サガミ」3店舗の出店が既に確定しております。昨年行った立地開発部門の人員体制拡充が奏功しており、更なる店舗展開に繋げてまいります。

◆ フランチャイズ事業の推進

2017年2月に東京ビッグサイトで行われた、フランチャイズ・ショーにて「水山」業態を出展いたしました。本年度はフランチャイジー募集を本格展開する初年度と位置付けており、展開を加速してまいります。

◆ 新入社員の採用再開

今後の出店増加に向け、8年ぶりに新入社員の採用を再開し、本年4月に23名が入社いたしました。本年度は30名の社員採用を目指し、採用活動を強化しております。

◆ 健康メニューへの取り組み強化

健康的な食事を求めるお客様ニーズは年々増加しており、小売、流通、外食各社においてその取り組みは増加傾向にあります。当社の主力商品であるそば自体も健康価値が高い商品ですが、更にお客様の健康に貢献できるメニュー開発に積極的に取り組んでまいります。

◆ 宅配サービス「ごちたく」事業の推進

高齢化社会が年々進行する中、宅配サービス事業への取り組みは重要性が増しております。本年度は、対応店舗を9店舗増やし、グループ内30店舗での展開を見込んでおります。

◆ 出店重点地域

国内においては、今後も人口の増加が予測されている関東圏および中部圏を、海外においては、経済発展が期待できるASEAN地域を最重要地域と位置付け、展開を進めております。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により当初予想数値と異なる可能性があり、毎年見直してまいります。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

(1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」「企業を通じてお客様に奉仕すること」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム(TDnet: Timely Disclosure network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヵ月間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャー ポリシーを周知徹底し遵守いたします。